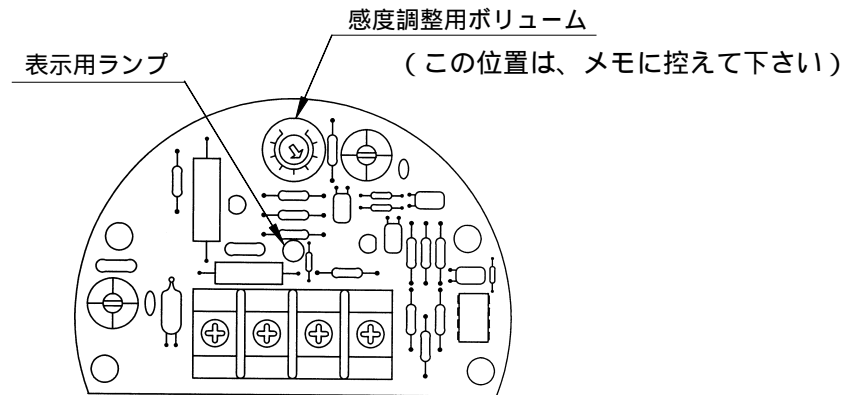
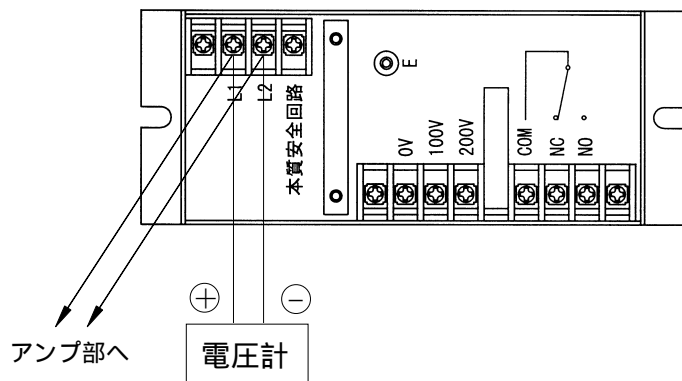


定期点検の方法

1. この定期点検は、検出電極に測定対象物が触れていない状態で行って下さい。
2. アンプ部の感度調整用ボリュームの現在位置を確認して下さい。

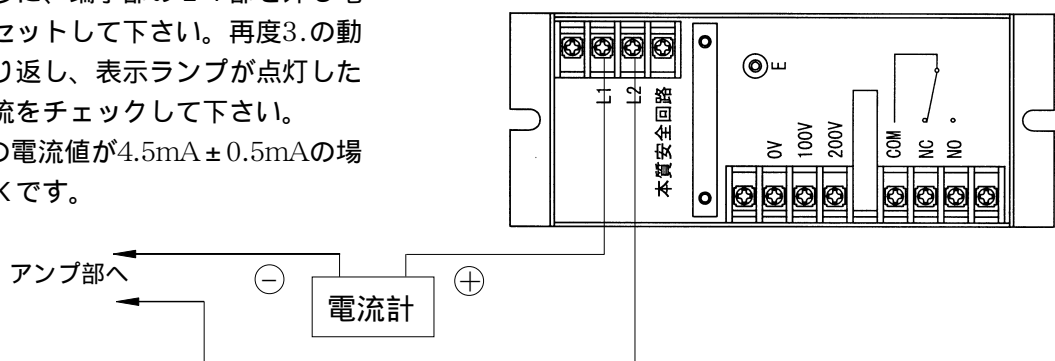


3. アンプ部の感度調整用ボリュームを高感度側（時計回り）に回して下さい。表示ランプが点灯します。この位置での電源側のL1、L2間の電圧をチェックして下さい。L1、L2間電圧が $(10V \pm 1V)$ の場合 OKです。ランプ点灯時電源部の出力用リレーが動作する事を確認して下さい。



4. 3. の状態から調整用ボリュームを低感度側（反時計回り）に回して下さい。表示ランプが消灯します。ランプ消灯時、電源部の出力用リレーが動作しなくなる事を確認して下さい。

5. 図のように、端子部のL1部を外し電流計をセットして下さい。再度3.の動作を繰り返し、表示ランプが点灯した時の電流値をチェックして下さい。この時の電流値が $4.5mA \pm 0.5mA$ の場合はOKです。



6. アンプ部の調整用ボリュームを2.で確認した位置にセットして下さい。以上で機能点検は終了です。

7. 最後に、機器の取付状態の外観検査を行って下さい。

この点検作業には、アンプ部側及び電源側双方に作業員が必要です。